

放射線科研修

◇ 研修目標および特徴

画像診断：画像の解析学にとどまらず、その対象である個々の患者を把握し、主治医に対し検査、治療に関する適切なアドバイスをする事が出来る。

研修では、さらに CT、MR、透視撮影および簡単な特殊検査の習熟を目標とする。

放射線治療：悪性新生物に対する集学的治療の一本の柱としての役割を認識できる。

◇ 研修内容（方略）

- 1) バリウムスタディ：管腔臓器の特徴を生かした検査法を理解し実践する。
- 2) 経静脈性腎盂造影：水溶性ヨード造影剤による経静脈造影検査の基礎を理解し実践する。
- 3) CT：CT解剖を知り疾患に応じた検査法を学ぶ。
- 4) MR：画像構成の基礎と検査の特質を学ぶ。
- 5) RI：アイソトープの特殊性を知り、各種検査法を学ぶ。
- 6) 血管造影検査：セルディンガー法の手技と IVR の基礎を学ぶ。
- 7) 放射線治療：放射線治療の基礎と適応疾患を学ぶ。
- 8) 放射線防護：医療被曝の位置づけを知り。患者の不安に答えられる知識を得る。
- 9) 症例検討会：個々の患者の検査適応や治療選択の考え方を学ぶ。

◇ 指導責任者

上田 賢

◇ 週間スケジュール

曜日	AM	PM
月	画像診断・放射線治療	画像診断・放射線治療
火	画像診断・放射線治療	画像診断・放射線治療
水	画像診断・放射線治療	画像診断・放射線治療
木	画像診断	画像診断
金	画像診断・放射線治療	画像診断・放射線治療

◇ 評価方法

- (1) 各研修医は研修到達度の自己評価を PG-EPOC に入力する。
- (2) 研修指導医は研修期間終了時に、研修医の研修到達度を評価する